

平成27年度

第3回いわき市教育委員会議事録

平成27年6月24日（水）

第 3 回 教 育 委 員 会 記 録

- 1 開会年月日 平成27年 6 月24日(水) 午後 1 時30分
- 2 開催場所 教育委員室
- 3 出席委員 教育長 吉 田 尚
 教育長職務代理者 馬 目 順 一
 委 員 蛭 田 優 子
 委 員 山 本 もと子
 委 員 根 本 紀太郎
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のために出席した者の氏名
 教育部長 増 子 裕 昭
 教育部次長兼総合調整担当 鈴 木 隆
 学校教育推進室長 松 岡 勇 雄
 中央公民館長 草 野 瓦
 いわき総合図書館長 夏 井 芳 徳
 美術館長 佐々木 吉 晴
 教育政策課長 松 島 良 一
 教育政策課教育施設整備室長 猪 狩 孝
 生涯学習課長 高 田 悟
 文化・スポーツ課 鈴 木 庄 寿
 学校教育推進室学校教育課長 草 野 仁
 総合教育センター所長 鈴 木 和 美
 事務局統括主幹兼教育政策課長補佐 木 村 晴 彦
 教育政策課長補佐 金 成 晃 彦
 教育政策課教育施設整備室主幹兼室長補佐 引 地 克 宏
 教育政策課教育施設整備室主任専門技術員 鏝 健 一
 生涯学習課長補佐 藤 原 良 基
 文化・スポーツ課長補佐 篠 原 美 紀
 文化・スポーツ課長補佐兼文化振興係長 久 野 征 浩
 学校教育推進室学校教育課長補佐 太 則 子
 学校教育推進室学校支援課主幹兼課長補佐 柴 藪 聡
 学校教育推進室学校教育課管理主事 猪 狩 照 良
 学校教育推進室学校教育課管理主事 塚 本 英 樹
- 6 書 記 教育政策課主任主査兼総務係長 草 野 康 弘
- 7 閉 会 午後 2 時38分

会議の概要

教育長 ただいまから、平成27年度第3回いわき市教育委員会を開催いたします。欠席委員の通告はありません。書記には草野主任主査(兼)総務係長を任命します。会期は本日限りとします。議事録への署名委員は、本日出席された委員のみなさまにお願いいたします。

教育長の報告(1) いじめのない・子どもが輝くまちづくり推進本部委員の委嘱について、学校教育課長をお願いします。

学校教育課長

教育長の報告(1) いじめのない・子どもが輝くまちづくり推進本部委員の委嘱について説明申し上げます。これは、平成27年5月31日で2年間の任期が満了することから、新たに、委嘱するものであります。

任期は、平成27年6月1日から平成29年5月31日までとなります。

委員は、いわき明星大学准教授外15名でございます。

教育に関する専門的な立場から大学教員を、また、PTA、子どもの健全育成に関わる団体からは保護者の立場での意見を求めたいと考えております。

さらに、小中学校教員、県教育委員会、相談関係など各団体から推薦をいただいた方々であります。

主な活動は、各小中学校でのいじめ根絶に向けた取り組みの調査を行うとともに、各学校での取り組みや、いわき市生徒指導連絡協議会での取り組みについて報告を受け、それらの内容についての協議を行ったり、各学校へ事例を紹介したりしております。

その他に、いじめ根絶作文・標語・ポスターのコンクールを実施し、昨年度の応募総数は、作文228点、標語2,246点、ポスター431点ございました。

応募作品の中から、優秀作品を掲示用ポスター、いじめ根絶10箇条として作成し、各学校、公民館等へ配布、掲示していただきまして、いじめ防止の啓発としております。

今年度も、昨年同様コンクール等を実施し啓発の機会とし、あるいは、定期的いじめの実態調査や各学校での取り組みの調査を行い効果的な取り組み事例を紹介するなど、年度末に活動のまとめを報告する予定となっております。説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明に対して、質問ございますか。

委員 いじめの報告件数は何件ですか。

学校教育課長 平成25年度の市内でのいじめの件数は、小学校8件、中学校29件、合計37件です。

委員 作文の内容は、いじめに特化して作品を作るのでしょうか。

学校教育課長 題材につきまして、いじめ防止に特化したものであり、自分の体験談や友達がいじめられて自分が関わったことなど、自分の体験や思い、考えなどであり
ます。

教育長 その他質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 なければ、議案第1号 いわき市公民館運営審議会委員の委嘱（補充）について
生涯学習課長お願いします。

生涯学習課長

いわき市公民館条例第10条の規定に基づき、次の者をいわき市公民館運営審議会
委員に委嘱する。平成27年6月24日提出 いわき市教育委員会 教育長

これは、小名浜公民館に設置してあります8名の公民館運営審議会委員のうち、学
校教育関係者として委嘱されている方につきまして、この度、小名浜方部の小中学
校校長会の会長の変更に伴いまして、新たに方部会長となられましたいわき市立泉
北小学校長に改めて公民館運営審議会委員を委嘱するため、委員会の承認をいた
だくものであります。

任期につきましては、前任者の残任期間から平成29年4月30日までとなっております。
説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明に対して、質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 なければ、議案第1号については、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 議案第1号については、原案のとおり可決いたします。では、次に移ります。

その他(1) 非核平和都市宣言30周年記念事業「生徒会長サミット」における長崎
市への生徒派遣事業について、学校教育課長お願いします。

学校教育課長

その他(1) 非核平和都市宣言30周年記念事業「生徒会長サミット」における長崎市への生徒派遣事業について説明申し上げます。

「生徒会長サミット事業」における長崎市への派遣事業につきましては、平和教育や長崎市内の中学生との交流を行い、派遣生徒は、平和や非核への意識が高まるとともに、自分の考えを積極的に表現できるような発信力やコミュニケーション能力、そして郷土愛といったリーダーとしての資質が劇的に向上してまいりました。また、原爆による被害を受けた長崎市の復興の様子や、70年にわたって原爆を語り継ぎ、核廃絶への活動を行っている様子を直接体験することで、震災を後世へ語り継ぐ気持ちと、いわきの復興を担おうとする気持ちが大きくなってきたところです。

今年、本市が非核平和都市宣言を発表してから30周年、原爆投下から70周年の節目にあたり、本事業名に「非核平和都市宣言30周年記念事業」と冠をつけるとともに、長崎市の「平成27年度 世界子ども平和会議」へ参加する予定であります。

日程は、8月3日にいわきを出発し、広島市内の原爆ドーム等の見学を経て、長崎市へ向かいます。長崎市では、世界子ども平和会議や中学生や高校生との交流会に参加した後、8月10日にいわき市へ戻る予定であります。

この事業は、市の予算と福島子どもカプロジェクトからの支援を受けて行うものであり、参加人数は、生徒会長サミットメンバー19人、シニアメンバー4人、引率3人です。

なお、派遣メンバーにつきましては、保護者及びサミットメンバーのうち希望のあった19名を選出したものであります。

教育長 ただいまの説明に対して、質問ございますか。

委員 8月5日、6日の世界子ども平和会議の内容を教えてください。

学校教育課長 被爆70年の節目に、長崎市が開く会議であり、8月5日、6日に同市で行われます。参加者は、世界162の国と地域から1人ずつ、162名のボーイスカウトと長崎市内の中高生100名です。ここに平成23年度から交流を続ける本市の中高生の枠をとっていただき、参加させていただくことになりました。

この会議では、被爆体験講話やグループワーク、平和行進などが行われ、平和について多くのことを学ぶ機会となります。

委員 平成23年度から広島・長崎に行かれていますと思いますが、この世界子ども平和会議というのは70周年で、今年の開催だけということでしょうか。

学校教育課長 そのとおりでございます。

委員 市の予算と福島子どもカプロジェクトの予算でということでしたが、かつては

フェリーで帰ってきたりといったことがあったかと思いますが、移動中もプレゼンテーションをしたり、見た目よりもハードだと理解しておりますので、できるだけ、移動の時間を短くしてあげて、そういったところに時間がさければいいと思うんですが、そのへんは予算等はどのようにでしょうか。

学校教育課長 今年度に置きましても、全行程バスでの移動であります。ただ、帰りは長崎からフェリーに乗りまして大阪に着いてそこからまた、バスでの移動です。

昨年は台風を避ける形で移動したので、フェリーに乗らず、バスで移動した経緯がありましたが、今年特に気象面での状況が悪くなければ、委員がお話のように子どもたちの勉強する場として活用しておりますので、今年も同じような形で行う予定であります。

教育長 その他質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 なければ、その他(2)平成27年度いわき防災サマーキャンプの実施について 生涯学習課長説明をお願いします。

生涯学習課長

本事業は、防災をテーマとした宿泊体験や体験学習プログラムを行う防災キャンプを実施しまして、災害時等の困難な状況においても、子どもたちが、自ら考え、互いに助け合い、生き抜くための知識と体験を通じて、本市の復興を担う子どもたちの防災意識を高め、他者を思いやる心や行動できる力などの“生きる力”を育むことを目的として平成24年度から実施している事業でございます。今般、平成27年度の実施方針が定まりましたので御報告するものであります。

名称は、レッドベアいわき防災キャンプと申します。実施の主体は教育委員会また、地区実行委員会、後援がPTA連絡協議会でございます。また、企画・協力がNPO法人プラス・アーツ、レッドベアサバイバルキャンプクラブでございます。

開催日及び場所につきましては、夏休み期間中として2日間、公民館、学校等を活動場所として実施することとしております。実施公民館につきましては、連絡調整館単位の6ブロックから毎年適宜1か所ずつ選定しております。

対象につきましては小学校4年生～6年生までの児童。各地区32名としておりますが、毎年参加者が上回っている関係もありまして、全部で192名の枠の中で昨年は216名と約20名多く参加いただきました。参加費は、子ども一人当たり実費分として1,000円を徴収しております。参加者の募集方法につきましては、実行委員会から学校を經由して4年生～6年生までの子どもに対してチラシを配布して募集をかけることとしております。

また、実施の手法につきましては、6地区ごとに公民館の職員、社会教育指導員、教

職員、地元の関係者からなる地区の実行委員会を組織して、プログラムの企画、体験活動の運営・指導を行うなど、各地域での自立的な事業の実施に努めてまいりたいと考えております。説明は以上でございます。

教育長 ただいまの説明に対しまして、質問ございますか。

委員 私も前に一度出たことがあります。夏休み中、子どもたちにとって生き抜く知識や体験ができる良い活動だと思いました。その中で、地域の人たち、特に婦人会や消防団の人たちが子どもたちに関わっていくんですね。とても良い活動だと思いました。そこに初任研の先生と一緒に参加していました。初めて先生になった人たちが、子どもたちが地域の人たちに支えられながら育っていく姿を目の前で見ることができて、とてもいいなと感じました。夏休みだから勤務体系の中に1日位は入れられるかなと思うんですが、今年はどうでしょうか。

生涯学習課長 学校教育課等のご協力をいただきまして、毎年、サマーキャンプは新任教員の研修として位置付けていただいております。参加いただいております。子どもたちと年が近いので人間関係が生まれてくるというのもあります。また、前の年まで参加していた中学生が、今年は教える立場として参加するという地域の繋がりも生まれております。全体として昨年のスタッフにつきましては参加者が216名のところ延べ768名と年々多くの方々に参加していただいております。事業が地域に浸透していると実感しているところでございます。

委員 地域の人たちがこれほど一生懸命なのかなと感じたのは、上遠野に行ったときに次の次に開催するところの婦人会などの代表の人たちが見学に来ていて、もっと良くしていくにはどうすればよいかとみていることがありました。如何に子どもに効果的にやってもらうかを地域を挙げて考えている姿、少しずつやっていくことによって、みんなで子どもを育てていくというところに最終的につながっていくのかなと感じました。

委員 レッドベアとはどういう意味ですか。

生涯学習課長 レッドベアにつきましては、NPO法人プラス・アーツが神戸市の消防局と一緒に開発したプログラムですが、レッドベアのいわれについては、明確ないわれはなく、キャンプということで、イメージ的な部分で、クマをキャラクターとして設定したものと考えております。

委員 今年で、震災を契機にできた事業がなくなりつつあると聞きましたが、この事業は来年もできるという保証はありますか。

生涯学習課長 この事業は、学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業ということで、文科省の100%委託事業で行っております。予算規模では700万円程度頂いて、そのうちの400万円を委託費ということで支弁しておりますが、この事業は国からのお話では27年度で終結と言われております。今後、一般財源対応となりますが、地域に定着している効果の大きな事業と認識しておりますので、経費の圧縮に努めながら、また、各地域で実行委員会をつくって、各地域で自立的な展開を行っておりますので、プラスアーツという法人の力を頼まずに、各地域でこれまでに蓄積したノウハウを生かしながら、自立的に少ない予算の中で今後も継続的に展開していく方向を目指したいと考えております。

教育長 県としても来年度も継続したいという要望の強い予算なので、国に被災三県と一緒に要望していくと聞いております。
他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 なければ次に移ります。

その他(3)各種事業の開催について、文化・スポーツ課長お願いします。

文化・スポーツ課長 それでは別冊資料をご覧ください。

文化スポーツ課所管では3件ありますが、いわき市立美術館企画展「アンコール・ワットへのみち―神々の彫像―」の開催については美術館長から説明し、残り2件については、私から説明させていただきます。

美術館長 美術館が夏に開催する、アンコール・ワットへのみち展について御説明いたします。9世紀から15世紀にかけて現在のカンボジア領域を中心に巨大な勢力を誇ったクメール人によるアンコール王朝の彫刻を展示いたします。神々の彫像というタイトルとなっておりますが、クメールではヒンズー教と、仏教が混淆して入ってきており、2種類の神々がこの中にあるということで、神々の彫像というタイトルの展覧会になっております。80点で構成されておまして、展覧会全体に色つけするために、彫像の他にクメール人が作っておりました壺や工芸品を併せて展示し、クメール文化の中で神々が重要視されていたのか明らかにするいわきで初めての展覧会があります。

開催期間等については、記載のとおりでございます。

教育長 ただいまの説明に対しまして、質問ございますか。

委員 会期中の金曜日は20時まで開館するということですが、今までもそのようなこ

とを実施していたのでしょうか。

美術館長 7月、8月の夜間開館については20年くらい前から実施しておりますが、なかなか定着しないので、機会を見つけてこれからも強調して参りたいと考えております。

教育長 他にございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 なければ、いわき市アンモナイトセンター夏休み企画展「アンモナイトの造形展～形態の変化と機能美～」の開催について、文化・スポーツ課長お願いします。

文化・スポーツ課長 アンモナイトにつきましては、今からおよそ4億2,000万年前、古生代シルル紀という時期に最初の棒状のアンモナイトが生じておりまして、その進化に伴いまして、縫合線を複雑にしつつ殻を強化しながら、何度かの絶滅期を乗り越え多種多様に適応放散しましたが、およそ6,600万年前に絶滅したものでございます。

今回の展示では正常巻・異常巻・棒状の3系統のアンモナイトの化石を展示し、その形態に迫り、併せてパネルでの解説をするものでございます。

開催期間等については、記載のとおりでございます。

教育長 ただいまの説明に対しまして、質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 いわき市暮らしの伝承郷 第2回企画展「絵本・紙芝居と野村たかあき作品展」の開催について、文化・スポーツ課長お願いします。

文化・スポーツ課長 絵本・紙芝居は、子どもたちの心の成長に欠かせない文化でございます。大人による絵本の読み聞かせは、ストーリー以外に愛情の伝達でもあるということで、今回の展覧会では、子どもの遊びや家族の絆をテーマに作品を作り続けている絵本・紙芝居作家の野村たかあき作品を紹介するものであります。

開催期間等については、記載のとおりでございます。

教育長 ただいまの説明に対しまして、質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

教育長 その他(4) 次回教育委員会の開催について 教育政策課長お願いします。

教育政策課長 次回の教育委員会は7月29日水曜日、当会場で行います。始まりの時間につきましては、記載してございませんが、当日の教育委員会では、教科書選定委員会から答申をいただいて、それを踏まえて教科書の採択を委員の皆様をお願いする形になりますが、その作業を10時から予定しております。その他の案件は、10時より前に行いたいと考えておりますが、まだ、その他の案件が確定しておりませんので、確定次第改めてご連絡差し上げたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

教育長 以上で、平成27年度第3回教育委員会を閉会いたします。